

「学生連携自然環境保全活動」～金沢市のホタルを守るために～

団体名●張ゼミナール／代表者名●張 森（経済学部経済学科・准教授）

はじめに

張ゼミは金沢市環境政策課の委託を受け、「学生連携自然環境保全活動」を実施してきた。この事業の目的は、自然保護に取り組む市民団体と学生を結びつけ、学生が自然環境事業を体験することで、若い世代の自然環境保全に取り組む人材を育成することである。また、学生の感性を生かした提案を取り入れ、より魅力的な事業展開を目指している。

活動内容

①ホタルについての説明会受講(1回、13名)

2024年5月28日、金沢星稜大学にて石川ホタルの会の会長新村氏に、市内で観察できるホタルの生態や生息環境について説明を受け、市主催のホタルイベントへ向け基礎知識を習得した。



②市主催のホテルイベントの体験(2回、13名と8名)

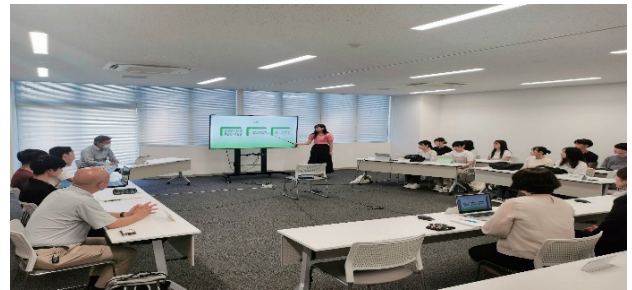
2024年6月15日には白鳥路にて「ホタル観賞の夕べ」、6月29日には湯涌ホタルの里にて「湯涌ホタルNight」の2つのイベントに参加した。これにより、ホタルを保全する市民団体の活動に触れ、身近な自然



の大切さを学びながら、環境保全について理解を深め、市民団体との交流を図ることができた。

③報告会議への出席(1回、13名)

2024年9月26日、市役所にて活動を通じて集約した提案をプレゼンテーション形式で発表し、市への提案を行った。同席された金沢市環境政策課の方から高評価をいただき、次年度もぜひ力を貸してほしいとの激励の言葉をいただいた。



成果、結果の考察

金沢市のホタルが安心して生息できる環境を守るために、次のような取り組みを提案した。ホタルの生息環境を守るため、外来種の駆除や水・土壌環境の改善、光害の削減を推進する。また、農薬や除草剤の使用を減らし、個体数を確保するとともに、若者を対象に保全活動の魅力を SNS や地域教育で発信し、参加を促す。さらに、熊やイノシシの対策を行い、安全な観察・調査環境を整備する。これらの取り組みを通じ、ホタルと共生できる自然環境を未来へつなげることを目指す。

今後の課題、展望

次年度はホタルだけでなく、金沢市環境政策課と連携しながら、その他の自然環境保全活動推進事業を進めていきたい。